

2024 年度

事業報告書

特定非営利活動法人 AfriMedico

1 事業の成果

置き薬システムを通じたアフリカの医療環境改善活動の促進、および研究活動

『医療を通じてアフリカと日本をつなぎ、健康と笑顔を届ける』をミッションに、2016 年度より展開を開始したアフリカのタンザニア ダルエスサラーム近郊の農村部で行っている置き薬事業の推進と、その置き薬事業がもたらす効果のエビデンスを確認するための研究活動を中心に活動を行っております。

2024 年度はタンザニアとのやりとりを通じて以下 2 つを実行することが出来ました。

①現地置き薬事業の代金回収状況の可視化

現地から毎月提出される財務レポートに含まれる、各エリアの回収金額、置き薬の購入金額および購入頻度に着目し、これらの情報を反映したデータベース（以下、DB）を新たに構築しました。DB 化により、年間を通じた状況を俯瞰的に把握できるようになり、長期的な視点での戦略的アプローチ検討が可能となりました。今後は、事業の拡大規模を定期的にモニターすることで、どれほどの人が置き薬により医療アクセス改善の恩恵を受けられたかを支援者の皆様と共有できればと考えています。現在も、購入された置き薬の詳細情報や、設置世帯における使用状況の DB 化にも取り組んでおり、その実現に向けて現地メンバーと連携して活動を進めています。

②置き薬オペレーションのプロセス改善

2024 年 11 月に日本人チーム員がタンザニアを訪問し、実際に現地の運用プロセスを視察しました。置き薬を安全に使用し、使った分だけ後で支払い、の「先用後利」システムを一層強化するため、実態を踏まえた上で、最適なプロセス構築に向けて改善事項に優先順位を付け、段階的な改善活動を推進しています。

また、2024 年度は、団体創設以降、継続して取り組んでまいりました研究活動がついに身を結んだ年となりました。日本国際保健医療学会がアジアの国際保健関連学会と共催し、沖縄で開催されたグローバルヘルス合同大会において、AfriMedico の研究成果が演題として採択され、ポスター発表をすることができました。今後は、同演題の論文投稿の準備を進めると同時に、昨年の研究から得た教訓を

置き薬事業に還元しつつ、新たな視点での研究テーマを策定しており、グローバルヘルスの領域をリードする NPO 法人として研鑽を積んでいく所存です。

2024 年度は、過去置き薬事業を展開してきた農村部に加え、現地オフィス近郊エリアでの活動も進めています。パイロット世帯を数軒増やし、薬剤を熟知する現地スタッフを雇用して強固な置き薬事業の仕組みを構築している最中です。引き続き、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

一年を通じて外部登壇、主催イベント、各種メディアへの露出、メールマガジンやホームページ、SNS などを活用した広報活動も行い、AfriMedico の活動とアフリカの医療の現状についての理解を広める活動共有を行いました。2 年連続高校生が普段授業で使う教科書の表紙に AfriMedico の活動の様子が掲載されるなど、日本での更なる認知も高まり始めております。

2. 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款に記載された事業名	事業内容	日時	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
アフリカの医療環境改善事業、およびアフリカにおける医療教育・知識啓発事業	タンザニアにおける医療過疎地域において配置薬事業を展開する 上記薬剤の配置拠点において、疾病の予防・治療方法や薬剤の適正使用を目的とした医療教育を行う	通年	タンザニア (Pwani 州 Kisarawe district)	179 世帯	1,514 (千円)

● 置き薬システムを通じたアフリカの医療環境改善活動の促進・医療教育知識啓発事業

<現地での置き薬事業と医療教育>

ブワマ村、ムレゲレ村各村の置き薬マネージャーを通じて、置き薬の配置、補充、また薬の正しい服用方法、予防などの医療教育を行っています。未払い顧客へのリフィルの進め方など、現地オペレーションをどう改良していくかの課題が見えた年にもなりました。

<研究活動>

2024 年 11 月、沖縄で開催されたグローバルヘルス合同大会において、研究成果をポスター発表しました。団体創設以降、挑戦し続けていた外部への発信が叶った年でした。今後は、論文投稿の準備を進めると同時に、昨年の研究から得た教訓を置き薬事業に還元しつつ、新たな視点での研究テーマを模索しています。

<現地とのコミュニケーション強化>

オンラインでのミーティングを主として活動展開する事を定着化させてきました。例年ですと渡航したスタッフのみとのコミュニケーションが主になってしまうところ、オンラインで行うことで日本からもより多くのメンバーが参加でき、より結びつきが強くなりました。昨年度は例年以上に成果に拘り、オンライン会議ごとに各タスクの進捗により得られたことを現地から共有してもらう時間を増やしました。

定期的にタンザニア人メンバーとのオンラインミーティングを実施しており、情報の質が上がってきています。レポートだけでは把握できない部分を直接確認できる良い場となっています。また、事前にアジェンダを共有することでミーティングを効果的且つ効率的に実施できております。

- 上記を支える活動として、国内での助成金、寄付者、賛同者の獲得
 - 2024年度は、Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs および 世界の人びとのためのJICA基金活用事業、計2件の助成金を獲得しました。
 - 2024年度の広報活動は、理事の講演が14回、取材や記事で取り上げていただいたメディア8社、イベントは自主企画1回と国際協力イベントへの出展1回と、一年を通してAfriMedicoの活動を知ってもらう露出を多く行いました。また、SNSでは、日々の活動報告やメンバーの個性が垣間見える話題を発信し、AfriMedicoをより身近に感じていただけるよう心がけました。結果、活動にご賛同いただいた年間100名を超える方からご寄付をいただきました。
 - プロボノとして新たに12名の方がAfriMedicoに加入し、第一線で活躍しています。
- その他の活動
組織運営やリーダーシップ等の講演による収入を得ております。

法人名： 特定非営利活動法人AfriMedico

活動計算書

2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
受取会費	350,000	350,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	2,615,299	2,615,299	
3. 受取助成金等			
受取助成金	1,500,000	1,500,000	
4. 事業収益			
TSUNAGU事業収益	80,000	80,000	
5. その他収益			
受取利息	1,850		
為替差益	4,026	5,876	
経常収益計			4,551,175
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
外注費	981,300		
支払手数料	176,405		
売上原価	146,640		
広告宣伝費	145,652		
その他	64,473		
その他経費計	1,514,470		
事業費計		1,514,470	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
地代家賃	420,000		
広告宣伝費	407,244		
旅費交通費	194,326		
消耗品費	155,153		
会議費	142,700		
研修費	103,400		
その他	76,851		
その他経費計	1,499,674		
管理費計		1,499,674	
経常費用計			3,014,144
当期経常増減額□			1,537,031
III 経常外収益			
1. 講演料等			
講演料等	50,000	50,000	
経常外収益計			50,000
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			1,587,031
前期繰越正味財産額			5,660,436
次期繰越正味財産額			7,247,467

法人名： 特定非営利活動法人AfriMedico

貸借対照表

2025 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,450,252		
未収入金	255,086		
棚卸資産	500,550		
仮払金	11,470		
流動資産合計		6,217,358	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
3. 繰延資産			
繰延資産	1,280,136		
繰延資産合計		1,280,136	
資産合計			7,497,494
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	200,027		
前受金	50,000		
流動負債合計		250,027	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			250,027
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,660,436	
当期正味財産増減額		1,587,031	
正味財産合計			7,247,467
負債及び正味財産合計			7,497,494

財務諸表の注記

- 1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。
 - 1) 固定資産の減価償却の方法
該当事項はありません。
 - 2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
該当事項はありません。
 - 3) ボランティアによる役務の提供
該当事項はありません。
 - 4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。
- 2. 事業別損益の状況
単一事業であるため記載を省略いたします。
- 3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳
該当事項はありません。
- 4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳
該当事項はありません。
- 5. 固定資産の増減内訳
該当事項はありません。
- 6. 借入金の増減内訳
該当事項はありません。
- 7. 役員及びその近親者との取引の内容
該当事項はありません。

法人名： 特定非営利活動法人AfriMedico

財産目録

2025 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	37,576		
銀行普通預金	5,412,676		
未収入金			
Paypal	255,086		
仮払金			
海外送金預け金	11,470		
棚卸資産			
商品	500,550		
流動資産合計		6,217,358	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
3. 繰延資産			
繰延資産	1,280,136		
繰延資産合計		1,280,136	
資産合計			7,497,494
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
コーポレートカード引落未払金等	200,027		
前受金			
会費前受金	50,000		
流動負債合計		250,027	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			250,027
正味財産			7,247,467

2024 年度年間役員名簿 （前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれからの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 AfriMedico

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ☒ 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- ☒ 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名	(フリガナ)		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	理事	アンザイ エリ		2024年4月1日 ～ 2025年3月31日	～
		安齊 恵理			
2	理事	ツボイ ショウタ		2024年4月1日 ～ 2025年3月31日	～
		坪井 祥太			
3	理事	フジイ ダイキ		2024年4月1日 ～ 2025年3月31日	～
		藤井 大暉			
4	監事	カマチ マサヒデ		2024年4月1日 ～ 2025年3月31日	～
		蒲地 正英			
5				～	～
6				～	～
7				～	～
8				～	～
9				～	～
10				～	～

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 AfriMedico

	氏 名	
1	安齊 恵理	
2	坪井 祥太	
3	藤井 大暉	
4	蒲地 正英	
5	吉光 恵理	
6	青山 保奈美	
7	前田 麻貴	
8	大洞 貴信	
9	田中 耀瑛	
10	高田 紀子	
11		
12		